

## もっと話し合おう！



11月1～3日、東京にいる息子らが帰省してきました。  
次男坊が1週間授業が休みだそうで、それに合わせて今年から社会人の  
長男にも声をかけました。

旅費はかかりますが、お金は「何に使うか」で価値が決まります。  
我が家は家族の健康・思い出づくりには、迷わずお金を使います。

そして、上の写真のように  
私は息子らが小学生の時から畳の上で話し合ってきました。

「ここに座れ」  
正座させて、自分も正座して。

「息子さんらを叱っているんですか？」

もちろん叱る時もありますが、ここは話し合う場です。  
バカ話はテレビを見ながらでもしますが、真剣な話は静かな部屋で正座して子どもと向き合って、自分の思いを話し、相手の思いを聞く。

「どんな話を？」

今回、長男には仕事のこと、今どんなことにストレスを感じているか  
次男坊には学業のこと、先の進路を今現在どう考えているかなど。  
そして共通して、「今、女はいるのか？」(笑)

「息子さんたち、いい子ですね！」

いえいえ、反抗期あってこそこの今です。  
「クッソ!」「やぜっ!」「ムカツク!」「クソババア!」  
二人とも中学生の時、よく口にしていました。  
思えばこの頃が一番、反抗的でしたね。  
親としゃべらなくなる、親から離れていく。

私の記憶では長男には2回、次男坊には1回  
手を上げました。(思いっきりビンタ)

長男は目線を合わせず、反抗的な顔で話を聞く。  
次男坊は父親の目を凝視して、無表情で聞く。

右の写真、高校生の次男坊に叱っています。  
貴重な写真が残っていました(笑)



そして2次会は、行きつけの「相談室」で(笑)

自宅ではどうしても「父親」の立場になり  
説教モードで一方的になりやすいので、  
太田東西薬局の「先生」になって、息子らをお客様と見立て、血流を計ってアドバイスを  
おくれます(笑)



2泊3日の短い再会でしたが、今回も  
親子でいろいろ話し合いました。

息子らに限らず、親とも話し合ってきました。  
親が病気をして、親に「反省」が求められる時には相談室に呼んで話し合いました。



病気だけではなく  
遺書のこと、遺骨のこと、墓のことまで。  
義父母たちにも、遠慮せずに。

夫婦ゲンカが長引く親を、お寺に連れて行って  
お坊さんに間に入ってもらって  
話し合ったこともありました！（苦笑）



とにかく  
問題を先延ばしにせず、集まって話し合う。  
家族みんなで考え合う。

息子たちには、そうした両親祖父母の姿も  
恥ずかしくがらうに見せ  
何が問題なのか、いっしょに考えさせる。



それが良いのか悪いのか？  
もちろんケースバイケースですが  
私は家族の問題から、父として夫として息子として今まで逃げませんでした。  
相手の考えに耳を傾け、とことん話し合ってきました。

「放っておけ！」  
子どもに自立心を養うための親心からではなく、面倒くさいという理由で  
子どもの問題に係わろうとしない、父性のかけるもない父親。

「おまえはダメな奴だ！」  
子どもを一方的に叱り飛ばし、子どもの声に全く耳を傾けようとしない  
自分のことを棚に上げた高圧的な父親。

相手と話し合うのではなく、ただただ自分の感情を相手にぶつけている。  
ただただ自分にしか関心がなく、自分のやりたいことだけしている。

機能不全家族は、そんな「話にならない父親」にも原因があるようです。

「話し合っていない家族」というのは、家族それぞれに  
「相手に自分の気持ちを言わなくても、わかってもらいたい」  
“甘え”“依存心”があるようです。

それから

「相手に嫌われたくない」

平和主義過ぎる家族。子どもに嫌われたくないから叱れないという親。

「相手に何を言っても無駄だから言わない」

あきらめ、我慢が特技の家族とか・・・

それで家族が明るく楽しく幸せになるなんて、絶対に無理ですよ！  
すべて「話し合う」ことからしか、家族はまとまらないと思います。

家族でいっしょにテレビ見たり、旅行したり、食事に行ったり・・・  
それはそれで確かに楽しい出来事かもしれませんが、それだけでは表面上の  
関係というか、深い部分での信頼関係は得られません。

## 「話し合って、理解し合う」

これしかありません。

太田東西薬局を長くご利用いただいているお客様はおわかりだと思いますが  
病気をきっかけに、「家族が話し合う」場所。  
それが、この相談室です。

「家族が話し合い、理解し合う」

そこから家族の病気が、問題が氷解していくんですね。



もちろん、どうしても話し合いにならない人もいます。

その時は、我慢するのではなく勇気を持って舵を切りましょう！

別居・離婚など「相手から離れる」。幸せになるためなら私は賛成です。

子どものことを一番に考えて、「話にならない人」からは離れる。

次の「話し合える人」を見つけることにエネルギーを使いましょう！！